



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

同友会理念を学び深め、21世紀を切り拓く企業づくりを ＝地域に根ざした人間尊重の企業づくりを＝

県産業労働部との地域振興のための意見交換会 開催！

県産業労働部の皆さんとの意見交換

長崎同友会にとって大きな前進となりました！
2011年11月21日、松藤プラザ「えきまえ」いきいきひろばにて、県産業労働部の皆さん15名と地域振興のための意見交換会を開催いたしました。
(長崎同友会からは15名の参加)

現在の取り組み状況の確認

町田政策委員長による「まずはネクタイをはず

しましょう」との挨拶の後、酒見政策委員より中小企業憲章について、また宮田大村支部長より中小企業振興条例への支部としての取り組みの状況を報告・説明して頂きました。

また、県の方からも産業振興ビジョンについて資料をもとにご説明頂きました。互いに取り組みは違いますが、最終的な目標は「地域活性化」です。



町田委員長
お疲れ様でした



沢水課長
ありがとうございました

目次

県産業労働部との地域振興のための意見交換会 開催！	1
1月例会報告	3
コラム『他人と過去は変えられない、自分と未来は変えられる』	9
お詫びと訂正	9

3月例会案内	10
会員大活躍	11
理事会議事録抜粋	11
会員消息・会員数	12

自由闊達な意見交換

その後は、長崎を活性化させるためにはどうすればよいか？活発な意見交換がなされました。産業支援制度の周知徹底や、経営者の皆さんにとって身近な存在である市や各経済団体等からの情報提供の充実といった要望が出ました。同時に経営者としても支援制度や県の取り組みに対してもっと興味を持つ（知



ろうとする）ことも重要であるというご意見も頂きました。

今後もこのような情報交換、意見交換の場を設け、交流を深めながら行政の皆さんとタッグを組んで長崎の活性化に向けて進んでいきたいと思いますという雰囲気の中、終了しました。



大村市議会 市政研究会 開催さる！

市政研究会開催！

1月23日（月） 大村市議会 市政研究会が開催されました。

市議会からの参加要請を受け、「中小企業振興条例とは？」と題して、宮田支部長が支部の取り組みを交えながら40分に渡り、説明を行いました。

中小企業振興条例 制定の目的

「地域を元気にするための振興条例」と宮田支部長は強調。

「中小企業を地域づくりの主役と位置づけ、また企業としての自助努力を行い、他の企業、行政、関連団体との連携を強めながら施策に反映させることで活性化に繋がっていく。

しかし、制定が目的ではなく、あくまでもスタートである。」と述べられました。



条例制定へ向けて

説明終了後は市議各位より時間をオーバーする程、多くの質問、ご意見を頂きました。

市議会内において、振興条例への関心の高さが伺えたと同時に、同友会の活動にも注目が集まり、期待されていると実感しました。

県内初の条例制定へ向けて大村支部は、先日設立された大村市中小企業振興条例制定推進協議会と連携しながら前進していく覚悟です。



長崎浦上支部例会報告

日 時	1月17日(火) 午後6時30分
会 場	ギャラリーヘキサ
テ ー マ	『6次産業の創造で地域の活性化を!』 〈おおむら夢ファームシュシュの取り組み〉
報 告 者	(有)シュシュ 代表取締役 山口 成美 会員 (大村支部)



長崎浦上支部の1月例会は、大村支部の(有)シュシュ代表取締役山口成美会員に「6次産業の創造で地域の活性化を」というテーマでご報告頂きました。

山口氏は食の安心・安全への関心が高まる中、様々な食育体験教室で作る喜び食べる喜びを伝えています。

また、レストランウェディングもされており、新郎新婦自ら授粉や収穫を行なったフルーツで作ったジュースを引き出物やウェルカムドリンクとして提供するまでのストーリーを上映する演出等を通して、ここでも作る喜びを伝えていました。



そしてレストランウェディングの話の中では、ガラス張りの会場でムードあるキャンドルサービスをするために知恵を絞った結果、披露宴を昼間ではなく夕方から行なうようにして問題を解消したエピソードがありました。そういった発想や新しい取り組みも思いついたら即行動に移し、あまり予算をかけずに知恵を出すことや「ないものねだりではなく、あるものさがし」の言葉に参加者の方々も共感していました。

現在ではシュシュだけでなく大村の農家、加工製造の会社、販売店などいろいろな業態との連携にも力を入れ、相乗効果で地域を活性化させようと地域での「あるものさがし」に取り組みビジネスチャンスに変えているそうです。

最後の方で「不安を募るのではなくファンを募る」の言葉に「自分自身お客様に対して自分の心をどう伝えるのか、どう表現するのか、どう感じてもらえるのか」が大事ではないかと感じました。

いつもの緊張感あるムードと違い、笑い声聞こえる楽しい1月例会でした。

(文責 大久保 誠)

長崎出島支部例会報告

日 時	1月25日(水) 午後6時30分
会 場	サンプリエール
テ ー マ	「売る立場から買う立場へ」 ～やっと見つけた自分の天職～
報 告 者	(株)ホロスプランニング 加瀬 和利 会員

2012年の最初の例会でした。

報告テーマは、「売る立場から買う立場へ」～やっと見つけた自分の天職～ということで、(株)ホロスプランニング、ファイナンシャルプランナーの加瀬和利会員に報告いただきました。

加瀬会員の略歴。父は川崎大師の僧侶。母は神田のうなぎ屋さんで、1970年生まれの41歳、



もともと長崎に来たのは、友人の実家の会社で、一緒に仕事をしないかという理由からでした。

その後、輸入車の販売会社を経てソニー生命保険(株)長崎支社に入社し、保険の仕事を始めました。

ソニー生命に転職した時の反応は、母から、「保険の営業だけはやめてくれ！」と泣きつかれ、周りからは、「ソニー生命なんて聞いたことがない。」「私は保険に加入しているので、来ないでほしい。」等々。生命保険の世帯加入率90%！そんなに甘い業界ではないと痛感させられました。

長崎での知り合いは少なく、少ない人脈を手繰り寄せて紹介をいただき、お客様を増やしていき、2001年と2002年ハワイで表彰されるまでになったものの、本当にお客様のためになっているのかを考えた時、1社だけではなく多数の保険会社の商品を中立的にお勧めできることが、お客様にとって喜ばれるのではないかと思い、(株)ホロスプランニング(生保17社、損保12社)へ、購買代理人として35歳の時移行し、現在に至っております。

ホロスプランニングの購買代理人になったことで、お客様に提供できる情報が多くなり、お客様からの相談件数も増えたそうです。また、他社の営業とも敵対しなくなり、気分的に余裕ができる

ようにもなりました。

この仕事は、契約時よりも、アフターフォローの方が大切で、今までの経験から、自分のお客様として一生生命保険に加入していただけたと思うことは独りよがりであり、そうしていくことは自分のアフターフォロー次第だということを心掛けていきたい。そのための1つとして、「カセちゃんタイムス」というニュースレターを年数回発行している。また、既契約者の方にまめに訪問することにも心掛けています。

という報告内容でした。「売る立場から買う立場へ」とは、「言うは易し行うは難し」で、私自身反省しきり。もう一度初心に戻って「よい会社をめざす」「よい経営者になろう」「よい経営環境をめざす」のもと、現在の仕事の取り組み方を見直す良い機会だと思いました。

(文責 松尾 良)



大村支部例会報告

日 時	1月28日(土) 午前9時
会 場	富松神社・居酒屋よっとこ
内 容	新年慶祝例会(反省と抱負)

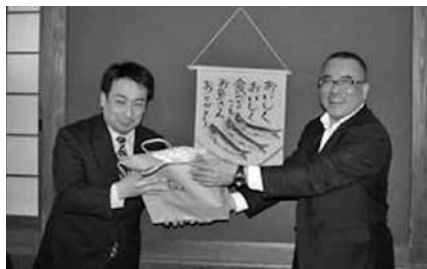


今月の大村支部例会は、夕刻より永富孝二会員が経営される「居酒屋よっとこ」にて慶祝例会として開催されました。

それに先立ちまして、午前9時より富松神社にて、喜寿のお祝いと厄入り・厄払いの厄除け祈願がおこなわれました。

今回、めでたく喜寿を迎えられた脇村英治会員、厄払いが私、伊東広純、そして山口佳彦会員と山本進会員が厄入りされました。当日は脇村会員が、あいにく体調が優れず欠席されましたが、宮田支部長をはじめ数名の方にご参列頂き、無事お払いをして頂きました。

脇村様には益々ご健勝頂き、厄入りの山口様、山本様には、この一年大事無く健康に過ごしていただき、来年無事に払いができますようお祈り



致します。

そして夜の慶祝例会では22名が出席され、一通りの例式の後、今年の吉運を願うべく盛大に宴が催され、お一人お一人昨年の反省から今年の抱負や目標などの発表を交えながら、楽し

いお酒が酌み交わされておりまして。

最後は徳田会員の「ぶあんざーい！」コールで

締めくくっていただき、皆様とても素晴らしいスタートが切れたのではないかと思います。

(文責 伊東 広純)



諫早支部例会報告

日 時	1月20日(金) 午後7時
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	「わが社の経営戦略」 ～何故から始まった業界への疑問～
報 告 者	(有)上田自動車 代表取締役 上田 五月男 会員(島原支部)



(有)上田自動車は昭和48年7月創業の自動車の整備と販売の会社です。平成2年に災害に合い、今の工場へと移転されました。同じ時期に高校を卒業された上田さんは自動車整備の学校へ進学して、钣金工場、そして自動車販売の会社で働いた後、平成14年に実家の工場へと戻られました。同年スズキ自動車の後継者講習に参加して、一緒に参加した同年代の人達に負けたくないとの思いから自分を変えていきました。それから仕事に対する熱意が沸くと共に今度は業界に対する疑問が出てきました。なぜ車検など一生懸命やったのに仕事の内容を納得してもらえないのだろう？なぜ支払い売り掛けになってしまうのだろう？支払いの時なぜ端を切られるのだろう。なぜ納車引取



りを自分達でしなければならないのだろう？等です。

丁度その頃他県では、スピード車検が増えて来ていました。そこで今までのような陸運局ではなく自社で車検を行う事で「見せる車検」をする。お客様に納得していただき、安くて、リピーターが増える様な車検を目指す事になりました。平成17年4月に福岡の車屋さんに両親と共に訪問して、その車検のスタイルを学び、資格を取って7月に法人化して(有)上田自動車の代表者となりました。銀行からと国金からの融資でしたが県の経営革新の制度を利用した為、期間も長く金利が安くて済んだそうです。そして車検の時は工場まで

持って来ていただき、(代車が要らない)現場に立ちあってもらうことで、以前からクレームが多かったバッテリーの交換やベルトの交換など見て判断していただくようになりました。納車、引取りの時間もかからず、陸運局まで持っていく時間にもかからず、時間的コストの削減。また現金で支払っていただくようになり売掛金がなくなりました。土曜、日曜日営業でお客様からも喜ばれています。お客様からの紹介も増えて平成17年の第1期は車検323台でしたが、6期目になると1097台に増えました。整備台数も第1期は318台でしたが、6期目は1179台です。車検に特化する事で顧客数を増やし、管理ユーザーを増やす事により次の提案をしようとされてま

す。7期目からは車の販売に力を入れて車の販売台数を3倍に。保険も獲得しながら、これからは同業者、異業種との提携で会社を伸ばしていくとの事です。

お客様に喜んでいただくためにどうすれば良いか、お客さんの立場になって考え行動する事が(有)上田自動車の成長の原動力となっているようです。

上田さんの会社から3人の社員さんも来られ、グループ討論に参加されました。社員さんに会社の方針を再確認させるためとのことです。

社員教育にも熱心な上田社長でした。

(文責 山田 圭一)

島原支部例会報告

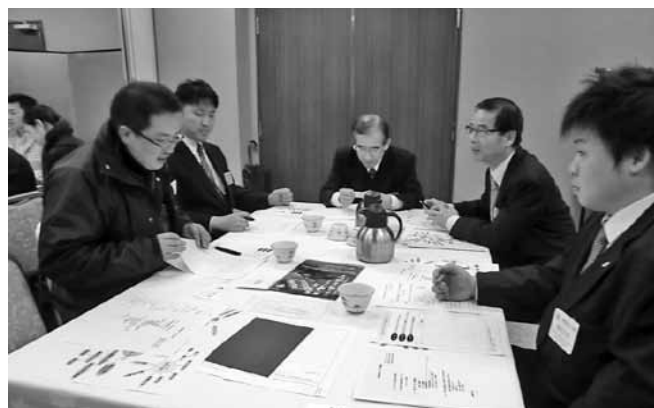
日 時	1月19日(木) 午後7時
会 場	ホテル南風楼
テ ー マ	『増強活動とアイデア発想法』 ～喜んで頂く～
報 告 者	(株)広告のアクセス 代表取締役 山領 進 会員 (佐世保支部)



今回は、新年最初の例会という事で佐世保支部の(株)広告のアクセス 山領 進会員に『増強活動とアイデア発想法』というテーマで報告して頂きました。

まず、山領会員が増強の為に実際使われているマインドマップを拝見し、また『増強』について簡単に分かりやすく説明して頂きました。

次に『発想法』の話になり、山領会員の発想法には、横取り・パクリ・逆転・切り替えがあり、それぞれの説明を聞き、特に「どうすれば売上げが上がるかを考えるとアイデアはなかなか出てこない。しかしどうすれば売上げが下がるかを考えると対処法は意外と出てくる」という言葉が大変印象に残りました。私も品質を保ったまま、仕事効率を上げる方法を模索していたので、この



言葉で私なりに視野が広がったと思います。

今までの考えを切り替え、この言葉をパクリ、私なりに立ち回りを変えていきます。

例会後には、懇親交流会があり新しくオブザーバーとして参加された方々とお酒を交わしながらの意見交換などもでき、本当に充実した時間となりました。

次回の例会は、(有)シュシュの山口会員が報告されるという事で楽しみです。

(文責 楠田 元成)

佐世保支部例会報告

日 時	1月21日(土) 午前10時
会 場	八幡神社・魚魚の宿
内 容	慶祝例会



今年最初の例会は佐世保支部恒例の慶祝例会でした。

今年は橋口会員の厄入りで、午前中に八幡神社へ行き、支部会員11名と一緒に祈祷をしてきました。

夜の部は昨年に引き続き、支部会員の小松屋さんが経営されている

西海橋の横にある魚魚の宿で行われました

千北支部長の新年の挨拶から始まり、川上会員による乾杯の音頭で宴会のスタートです。

小松屋さんが率いる「10番街とゆかいな仲間」によるすばらしい演奏を聞きながら魚魚の宿自慢のおいしい料理を頂き、日頃交流の少ない会員さん達と親睦を深めることができたように感じました。佐世保支部も来期に向け準備中です。皆で力

を合わせて今年も頑張っていきたいと思います。

(文責 中島 禎雄)



北松浦支部例会報告

日 時	1月25日(水) 午後7時
会 場	サンパーク吉井
テ ー マ	経営計画発表会 「飛躍する企業の経営指針に学べ！」
報 告 者	侑酒の一斗 代表取締役 池野 晋一 会員

今回の北松浦支部例会は、当支部池野会員の経営計画書発表例会となりました。

私が見る限り、設立から18期になるという「酒の一斗」の計画書は正に「繁栄」という言葉が相応しい完成度の高いものでした。

前半は今年の出店計画、10年後を見据えた異業種への進出と、常に攻めの戦略を展開していく



計画で、今、佐世保市が非常に面白いということでした。

設立からの基本的な考え方では、「作って売る」ということを常に考えているということで、焼酎を造るのに芋を植えたり、今度はワインを造るために葡萄を植えたりするそうです。

業界的には売り上げは伸び悩みですが、これからは市場を拡大して売り上げを伸ばしていくしかない。その為には常にアンテナを張り知恵を絞り、

新商品 長崎さるくマッ



ダスキン栄進
TEL823-7633

おかげさまで創業32周年

有限会社 プライアント保険

Tel : 0956-28-2425 <http://www.pliant.jp>

- ☐ 本 店 佐世保市日野町70-4
- ☐ 日野支店 佐世保市日野町1828-49 2F
- ☐ 来店型ほけんショップ 佐世保市日野町1828-49 1F

戦略を立て、計画を実行していくことが何よりも大切とのこと、要するにPDCAサイクルをきちんと回していかなければなりません。社員は「報、連、相」を徹底し、社長はいかにお客様に得をさせるかを常に考え、1+1が5にも6にもなることを考えること、これが社長力であるということでした。

質問コーナーでは、昔の苦勞話を聞かせてくだ



さいとの質問に、売り上げが落ちてきたり、夜中にトラックで走り回っていた頃が、苦勞といえは苦勞ですが、今は苦勞というよりも、一番充実していたように思えるということでした。

最後に「お客様に必要とされるから会社経営に命をかけられる」という言葉には非常に感銘を受けました。

(文責 山口 庄重)



青年経営者会例会報告

日 時	1月28日(土) 29日(日)
会 場	嬉野温泉 和多屋別荘
内 容	新春!! 大新年会 ～青経もOBも青懇もみんなで大討論～



今年最初の例会は、数年ぶりに復活した新年会を兼ねた宿泊例会。会場は、嬉野温泉 和多屋別荘。青経会員はもちろん、OBや北九州青年懇話会のメンバーにも集まいただき、大勢で青経の今後や今年の豊富など大いに語り尽そうと企画しましたが、日程が月末だったこともあって、少し寂しい参加人数でした。それでもOBの吉田國廣さんや長崎浦上支部例会委員長の池田繁隆さん、北九州からいつも来て下さる中川さん、それに今回、福岡同友会の長老 渡利さんにご出席いただき、少ないながらも新たな交流が生まれる例会になりました。



西村会長より 昨年は大変なことがあった一年でしたが、今年はみんなで力を合わせ、すばらしい年にしようと挨拶があり、会が始まりました。乾杯が終われば気心が知れた仲間ばかり、あちこちでいろんな話が盛り上がり おいしい料理をいただき、酒を酌み交わし、親睦を深め合い、また途中のアトラクションでは、みんなヒートアップ、若きは29歳から大先輩は80歳まで大いに盛り上がりました。

宴会で中締めをした後は、温泉につかり体を休めて、部屋に戻り、また酒を酌み交わしながら、今後の青経や同友会での活動について色々な話で盛り上がり、特に全国大会への参加については、皆関心が高く、今年こそは全国大会へ行ってみたいと口を揃えていました。

参加人数が少なく開催が危ぶまれた例会でしたが、少人数ながらも充実した例会ができよかったです。例会担当として少しほっとしました。

(文責 川口 圭典)



『他人と過去は変えられない。自分と未来は変えられる』

今林 京子 会員（佐世保支部）

皆さん、こんにちは

私が、最近、興味を持っていることは、『コーチング』です！

10年ほど前から話題になっていたみたいですが、私が、興味を持ったのは、2年前でした！

息子の高校受験をきっかけに、教育の難しさと、今まで、親の経験と親の目線で、この子のためと思って言っていたことが、子供には伝わっていなかったことがわかり、目からウロコが落ちる気持ちでした！

親は『育てよう』とする、子供は『育てられたくない、育ちたい』と思っているのです！誰しも、自分の中に答えを持っていて、その答えを見つけるように導く（COACH）のが親の役目なのです！

この2年間、それを頭において、子供に接してきましたが、なかなか実感がなく、この子は、いつやる気が出るのだろうか？と悩んでいました！ただ、最近、息子が『小学校の頃からやりたいと思っていた事があった。学校を辞めたい。』と言い出しました。それは、今、行っている高校の授業とは、全く関係のない事でした！息子の中で『勉強をする意味』『学校を卒業する意味』が何のためなのか、わからなかったのです！全く関係のないことだったのです！

高校受験前に、それがわかっていたら、進む道が違っていただろうかと思います！まだ、子供だから、やりたいことなんかわからないよ、だから、一応、学校に行かせるという方が、ほとんどだと思いますが、もしかしたら、子供達は、自分の中に秘めたものを持っているかもしれません！

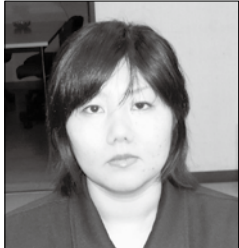
子供の言うことを、承認し、傾聴し、質問しました！その後、子供は、自分で考えて答えを出しました。今は、自分で決めた答えに自信を持って、学校に行っています！

今後も、子供の成長を見守りながら、二人三脚で、前に進みたいと思います！そして、コーチングは、我が社の社員教育にも役立てたいと思っています。



<お詫びと訂正>

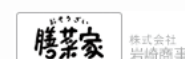
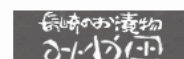
Vol.173・174 合併号の新入会員様紹介の欄にて重元会員のご氏名表記に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

支 部 名	北松浦			
氏 名	しげもと ちえ 重元 千恵			
企 業 名	㈱森システム			
役 職 名	財務主任			
企 業 住 所	〒859-4773 松浦市御厨町上登木免 412-6			
T E L	0956-75-2931	F A X	0956-75-2933	
業 種	一般産業機械の設計・製造			
企 業 P R	ロボットを使った生産ラインや検査設備など、色々なご用命に対応しております。 お気軽にご相談下さい。			
スポンサー	稲沢 文員			

ホームページのバナー広告を募集しています！

●お問い合わせ●

事務局まで
(月500円です)



3 月例会案内

●長崎浦上支部

日 時 3月22日(木) 午後6時30分
会 場 未定
テ ー マ 『会社の品質を上げるために』
＜社員教育をどのように行ってきたか＞
報 告 者 ドゥアイネット(株) 代表取締役
土井 幸喜 会員

高校卒業後、造船会社に勤めたが、造船業界の将来性に疑問を持ち始めた頃、コンピューターと出逢い、パソコンが世間はまだ知られていない時、この業界に飛び込みゼロから勉強してIT関連の企業に就職しました。その後、35才で独立し現在に至っています。近年、IT業界の発展と共に同業社も増え競争が激しくなってきました。その中で生き残るため、数年前から経営品質を上げることに重点をおき、イロイロな試みをやってきました。良かった事やうまくいかなかった事もあり、これからも社員と共に勉強して行こうと思っているという内容をご報告いただきます。

●長崎出島支部

日 時 3月28日(水) 午後6時30分
会 場 サンプリエール
テ ー マ 人間尊重の経営とは？
障がい者雇用を考える
報 告 者 (株)エス・ケイ・フーズ 取締役
中村 こずえ 会員

同社は障がい者雇用を積極的に進め、障がいがあっても会社の中で働けるように自社の環境整備なども進めてこられました。現在は自社内の取り組みだけでなく、長崎県や特別支援学校、公共職業安定所とも連携しながら、他社でも障がい者雇用が広がるようにと、活動を進められています。報告では、人(障がい者を含む)を大事にする姿勢が同社の経営にどう影響しているのか、同友会の理念でもある、人間尊重の経営に共通する話をさせていただきます。

●大村支部

日 時 3月15日(木) 午後6時30分
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ ー マ 中小企業振興条例学習会
～大村をもっと元気に！～
報 告 者 (株)ミヤタ 代表取締役
宮田 正一 会員
(株)富建 代表取締役副社長
富永 栄一郎 会員

近年、私たち中小企業を取り巻く環境は大きく変化し、経営の実態は大変厳しい状況となっています。この状況の中で、地域経済の主役である中小企業と、地方自治体が協力・連携しながら地域づくりを行うことが求められています。その柱となる「中小企業振興条例制定運動」について皆で学習したいと思います。
2011年秋に大村支部は、大村商工会議所と連名で市長に要望書を提出し、それを受け12月に制定推進協議会も組織されました。今年はさらに前進させていく年になります。

●諫早支部

日 時 3月13日(火) 午後7時
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ 『これからの諫早市』
報 告 者 諫早市長
宮本 明雄 氏

市町村合併により人口が増え、地域も大きくなり、県内でも重要なポジションを担う諫早市を今後どのような方向へ舵を取っていくのかご報告頂きます。特に長崎新幹線や国体等への諫早市の政策や地元中小企業との関わり方、さらには同友会が後押しする中小企業振興条例制定への考えなど、多方面での市長の考えをお聞きしたいと思います。

●島原支部

日 時 3月15日(木) 午後7時
会 場 南風楼
テ ー マ 企業を繁栄させるには
報 告 者 経営研究フナナップ 代表取締役社長
原 孝司 氏

お客様に喜んで頂けるには何を行えば良いのか。事業の原理原則についてお話し頂きます。

●佐世保支部

日 時 3月23日(金) 午後7時
会 場 佐世保市民会館
テ ー マ 銀行員時代から得た経営ノウハウ
報 告 者 トノカワ電業(株) 代表取締役副社長
竹永 正之 会員

今回の報告者は、トノカワ電業(株)竹永正之の会員です。竹永会員は大学卒業後、銀行に入行され、その経験を現会社においても存分に活用されています。金融機関との付き合い方、そして金融のノウハウを中心に、ご自身の経営体験を踏まえて報告頂きます。

●北松浦支部

日 時 3月15日(木) 午後7時
会 場 平戸文化会館
テ ー マ 新たな戦略と挑戦
報 告 者 サンキタガフ(有) 代表取締役
北川 新一 会員

パン屋として4店舗の事業展開をされており、今までの20年を振り返り、今後の戦略等について報告頂きます。

●青年経営者会

日 時 3月20日(火) 午前10時
会 場 唐八景
内 容 春一番、ハタ揚げ大会

今年も毎年恒例のハタ揚げ大会を開催します。長崎の3園の子供たちを招待し、ハタ揚げを通じ、長崎の伝統文化に親しむ中で親睦を深め楽しい1日をみんなで過ごしたいと思います。当日はトン汁、おにぎり、ハタまでついて盛りだくさんです。
ぜひ、ご参加のほどよろしくお願いします。

会員大活躍

◀長崎新聞2012年1月25日

▼長崎新聞2012年1月13日

長崎大と県北企業 産学連携へ相談会

佐世保



企業担当者(研究者が意見交換した
面談・相談会)佐世保市白南風町
ホテルソール佐世保

産学官連携を推進する長崎大産学官連携戦略本部(本部長・山下敬彦同大副学長)は20日、佐世保市内で「産学交流面談・相談会」を開き、県北地区の企業関係者が大学教授らと技術支援や研究協力の可能性について意見交換した。

大学の知的財産を生かした企業との共同研究などを通し地域貢献、地域社会との連携を図る狙い。10回目を迎える。製造業、農業、小売業、建設業など7社の担当者が訪れ、同大の経済学部や水産学部、薬学部、工学部の研究者らが相談に応じた。

平戸市でキノコの生産を手掛ける「きのこ屋」の大村謙吾社長は水産学部の長富澤教授と面談し、キノコを使った新たな冷凍加工食品の開発について相談。大村社長は「初めて参加したが、人脈が広がり、水産関係の高度な冷凍技術を使った商品開発の可能性が見えてきた」と感想を話した。

基調講演では、水処理プラントメーカー、協和機電工業(長崎市)の坂井秀之社長が産学官連携による研究開発の実例を紹介し、まずは自社技術の「棚卸し」をして、足りない技術や知識、ネットワークを連携し補完し合うことが大切などと述べた。面談・相談会は27日に長崎市でもある。

(内野大司)

県内経済展望2012

【小売業】九州教員代表取締役社長 船橋 修一氏



(設問)①国内経済、県内経済の見通し②業績(天気マークは、昨年実績→2012年の見通し)

③売り上げ・生産動向④採算状況⑤経営上の問題点とその対応策

複眼ウオッチ 長崎新聞長崎経済研究所企画

「通信革命」で淘汰か

①「国内経済」悪化。世界的な金融危機に陥る可能性が高い。そうなるかも、という心理だけで経済は沈む。「県内経済」悪化。保守的な考え

②「通信革命」で淘汰か。の企業が多すぎ。外国人の雇用や食・サービスの適応を図る意識もない。

③「変わらない」。マ。る。

イナス思考が投資をしない原因になっている。

④「やや好転」

⑤iPadに代表される「通信革命」が起きている。おそらく古いマイ

ンドの企業はこの波に乗れず淘汰(とうた)され

最優秀

黒田五寸人參プレミアム!
魚屋の鯖の燻製
手作りキャラメル ジャがメル
白磁美人小町「朱巻」

102点を審査



県は25日、第43回県特産品新最優秀賞の結果を発表した。最優秀賞には、農産加工・酒・飲料品部門にシジュウの「黒田五寸人參プレミアム」、水産加工品部門に竹野商社の「魚屋の鯖の燻製くんせい」、菓子・スイーツ部門に長崎空港ビルディングと沖田製菓が共同開発した「手作りキャラメル」が選ばれた。

新作展は、2010年12月以降に市販された商品や改良商品が対象。24日に行った審査会で、集まった102点を調理学士や小売店の関係者、デザイナーらが味や見た目、加工技術で審査した。表彰式は2月に県庁で行われる。

(山根悠太郎)

▶長崎新聞2012年1月26日

理事会報告

2012年2月理事会 議事録 抜粋

2012年1月31日(火) シーハットおおむら

開会挨拶ー松尾代表理事

念願の会勢400名を達成することができました!本当にありがとうございました。今後も更なる仲間づくりへのご協力、ご尽力をよろしくお願い致します。

新年度へ向けての準備に奔走しています。その中で、やはり同友会が良い会であるということ、仲間をもっと増やしていきたいという事を改めて感じています。理事会においても、経営の課題等を率先して話し合える場にしたいと考えています。

仲間づくりについて

1) 入会6名を承認。

報告・連絡事項

1) 1月 県本部・各ブロック・各支部・各委員会等の活動状況について

<大村支部総括>

1月23日(月)に大村市議会から要請を受け、中小企業振

興条例と同友会の取り組みについて、市議22名出席のもと、宮田支部長が講演、支部長と富永政策委員長で質疑に対応した。徳田アドバイザー、大塚真一副支部長、山田事務局長、芦塚事務局員も出席、思った以上に反応があった。私たち中小企業家同友会そして同友会活動のアピールも出来たのではと思う。

今後は会員に対しての浸透、温度差の解消が課題です。

<政策委員長>

2月15日には、「第2回地域振興のための意見交換会」を開催し、実務者レベルの方々との交流と同友会会員経営実態調査表(アンケート)内容について検討する予定です。

<40周年記念事業準備委員長>

①委員会の方針としては記念講演とフォーラムは一緒に良いのではないかと結論に至りました。

◎理由

- ・来期のフォーラム担当地区は県北である。
- ・今回の報告者候補が県北に係る方が多い。

- ・県北地区の会員拡大につなげたい。
- ②記念誌の件－会員の為の記念誌として作成したい。
 - ・大々的な記念誌は50周年事業の時に刊行してはどうか？
 - ・各々の会員企業をもっと認知できる様な記念誌にしてはどうか？
 - ・各会員の想いを表現する（経営理念は必ず書く）記念誌にしてはどうか？

2) 例会について（更なる例会の充実をめざして）－中村例会委員長
今年度最後の例会となる3月例会には、より高い参加率を求めていきたいと思ひます。

3) 中同協関係の件

①主要行事の紹介と参加促進

3月8・9日（木・金）

第42回中小企業問題全国研究集会（略称：全研）／福島

5月24・25日（木・金）

第6回九州沖縄ブロック支部長・支部活動研修交流会／大分

6月21・22日（木・金）

第15回 女性経営者全国交流会／沖縄

7月12・13日（木・金）

第44回 定時総会／岐阜

10月4・5日（木・金）

第40回青年経営者全国交流会（略称：青全交）／島根

②中同協幹事会 参加報告－松尾代表理事・山田事務局長

・問題提起

「2012年の情勢をどうみるか－憲章の理念を生かした震災復興と『中小企業の見地から展望する日本経済ビジョン』（討議資料）のとらえ方」

講師 神奈川大学経済学部 教授

大林弘道氏（中同協・中小企業憲章・条例推進本部顧問）

- ・憲章が閣議決定された6月を「憲章推進月間」として取り組むことが承認されました。

協議・承認事項

1) 来期に向けて

①理事人事について－松尾代表理事

来期の理事・役員（監事）（案）について提案通り承認。

（一部未決あり）

・各支部委員会について

すべての県委員会に対し、支部委員会より委員2名（正副委員長）を選任願ひます。

②年間計画について

- ・各支部・支部の役員会・例会・委員会等の日程を決定願ひます。

「年間活動予定表」を発信します。記入後2月末までに提出願ひます。

③第41回 定時総会について

（前回理事会 承認事項）

記念講演講師 長崎県知事 中村法道氏

－県のトップである知事の考えを直接伺ひたい。

日程：4月21日（土）予定 開催地：長崎市

タイムスケジュール案を承認

15時 開会・定時総会

16時 記念講演

17時 懇親交流会

④40周年記念事業について－岩崎委員長

記念講演の講師として ジャパネットたかた 高田 明社長に引き受けて頂けそうです。

2月3日（金）に最終のご回答を頂ける予定です。

決議事項－40周年記念事業を佐世保で開催する。

経営フォーラムとの関連については継続審議。

2) 予算について

- ・経営指針づくり委員会 特別予算措置 申請について

－松永委員長－承認

第2回「長崎がんばらんば塾」（経営理念成文化セミナー）

3月3日（土）アルカス佐世保

13時～17時

30名予定

開催にあたり3万円（会場費・備品費・資料代等）の申請あり。

・来期予算について

内山ブロック長からの要望。

「県南ブロックは、他に比べて会員一人当たりの活動費が一番少ないというのが現状です。

“全支部ほぼ均等”に向け、検討をお願いしたい。」

決議事項－提案に関しては、次年度へ向けての検討課題とする。

※ 組織変更に伴ひ、規約の変更も行ひます。（3月理事会で提案します。）

3) DOYOUニュースに掲載する例会報告作成に関して

－山田事務局長（島崎委員長代理）－承認

今まで同様とします。報告内容をもっと詳しく記載願ひます。

4) 県下一斉「会員増強月間」取り組みについて－上谷委員長

2月を「会員増強月間」とし、仲間づくりに取り組もう！との提案があり、承認。

会員消息

●住所・電話・FAX変更

小田 実 会員（大村支部）

新住所：〒856-0832 大村市本町462-1 電話・FAX：0957-53-0101

会 員 数（1月31日現在）

	長崎浦上	長崎出島	県 南	大 村	諫 早	島 原	県 央	佐世保	北松浦	県 北	合 計
目 標	100	100	200	50	80	40	170	100	40	140	510
期 首	84	84	168	38	40	31	109	69	31	100	377
受付含	90	92	182	47	43	31	121	68	29	97	400